

講 義 内 容

(1) 講演 【音（騒音）の基礎】（予定時間 70 分）

講師 坂 本 慎 一 《東京大学生産技術研究所 教授 工学博士》

概要 音とは何か？騒音とは何か？を始め、音の心理・聴覚の基礎と騒音、音の表示、音の評価の基礎について解説する。

(2) 講演 【国の空港周辺対策】（予定時間 50 分）

講師 和 田 英 嗣 《航空局 航空戦略室 騒音防止技術室 課長補佐》

概要 国土交通省において実施している「公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律」に基づく対策を中心として、これまでの騒音対策の経緯や予算等を概説する。

(3) 講演 【航空機騒音の評価】（予定時間 45 分）

講師 篠 原 直 明 《航空環境研究センター所長》

概要 時代とともに航空交通の状況、機種や運航方法、便数が変化し、騒音状況や苦情、騒音影響の見方も変化している。それらを踏まえ、本稿では航空機騒音評価に関する最新の知見を紹介し、基本となる騒音評価量 L_{den} の考え方や意味について説明する。

(4) 講演 【航空機騒音予測の基礎】（予定時間 40 分）

講師 中 澤 宗 康 《航空環境研究センター副主任研究員》

概要 航空機騒音の影響を予測する際の基本的な考え方に併せて、予測条件として必要なデータや条件設定の考え方のポイントについても解説する。

(5) 講演 【航空機騒音と健康】（予定時間 35 分）

講師 金 子 哲 也 《杏林大学名誉教授 保健学博士》

《航空環境研究センターアドバイザー》

概要 世界保健機構(WHO)の欧州局が2018年に環境騒音のガイドラインを更新したのを受け、国際民間航空機関(ICAO)が2019年にその解釈を白書として公表した。国連専門機関である両者のスタンスを概説する。

(6) 講演 【航空機運航と大気環境】（予定時間 30 分）

講師 橋 本 弘 樹 《航空環境研究センター 主任研究員》

概要 航空機エンジンから排出される大気汚染物質の種類やそれらが空港周辺大気環境や地球環境に与える影響について解説する。さらに航空環境保全に係る国際的動向も紹介する。

(7) 講演 【航空機の運航】（予定時間 30 分）

講師 深 野 賢 治 《航空環境研究センター 調査役》

概要 空港の運用や航空機の運航について基礎的な解説を行う。飛行方式や飛行経路に加え、航空管制のあらましについても説明する。

- (8) 講演 **【運航の工夫による騒音軽減】** (予定時間 40 分)
講師 武田 修 《航空環境研究センター 主任研究員》
概要 運航の規制または運航方式の工夫など航空機騒音軽減に関する発生源対策として採られている様々な方策についてその概要を説明する。特に近年採用される新たな騒音軽減運航方式等についても解説を行う。
- (9) 講演 **【航空機騒音短期測定の実施計画】** (予定時間 40 分)
講師 篠原 直明 《航空環境研究センター所長》
概要 航空機騒音を短期測定によって評価する際に必要な基礎知識や要件を、環境省の示す航空機騒音測定・評価マニュアルに基づいて実施することを想定した解説を行う。
- (10) 講演 **【航空機騒音の測定の留意点】** (予定時間 25 分)
講師 下山 晃司 《航空環境研究センター研究員》
概要 航空機の運航は風向きや天候によって変化することによって、騒音発生状況は大きく変化する。このため、特に短期測定によって正確な評価値を得るには十分な知見を持って臨むことが必要である。この講演では、短期測定の実施にあたり注意や配慮が必要な事柄を説明する。
- (11) 講演 **【航空機騒音データの集計方法】** (予定時間 35 分)
講師 篠原 直明 《航空環境研究センター所長》
概要 短期測定による騒音データを航空機騒音として処理・集計する際の基礎知識や留意点について事例を交えながら説明する。また、測定マニュアルに示されるデータ処理の際の特別な事例などについても解説する。
- (12) 講演 **【航空機騒音常時監視の留意点】** (予定時間 40 分)
講師 篠原 直明 《航空環境研究センター所長》
概要 航空機騒音の常時監視を実施する際に必要な基礎知識と正しい評価値を得るための留意点などについて解説する。測定機器の管理方法や測定結果の確認のあり方などについても述べる。
- (13) 講演 **【騒音計の取扱いと管理】** (予定時間 30 分)
講師 大島 俊也 《航空環境研究センター主任研究員》
概要 測定機器の具体的な使用方法をわかりやすく解説することで計測技術の習得を目指す。騒音計の検定などの管理方法、航空機騒音測定時の騒音計の取扱い、校正器を用いた校正方法などについて解説を行う。
- (14) 講演 **【航空機騒音に対する社会反応】** (予定時間 30 分)
講師 森 長 誠 《神奈川大学工学部 工学博士》
概要 環境騒音の基準値等を検討する際には、不快感(アノイアンス)や睡眠妨害など、住民の社会反応と騒音曝露量との関係性が重要となる。ここでは、それらについて、世界保健機関(WHO)のガイドラインや諸外国の最新の研究事例を紹介し解説を行う。